

「県美展南薩地区展」を開催

毎年、鹿児島市の市立美術館、黎明館で開催している、鹿児島県美術展の川辺地区関係作家の作品を展示する「県美展南薩地区展」を開催します。

また、会期初日の催しとして、出品作家の方々と交えた「作品鑑賞トーク」も開催しますので、絵画や工芸、写真などに興味のある方はお気軽にお越しください。終了後はささやかな交流会（茶話会）も行います。

期日 5月31日(日)～6月14日(日)
月曜休館
会場 南浜館(第1展示室)
観覧料 無料
主催 枕崎市教育委員会
後援 鹿児島県美術協会

「枕崎せんじ会小品展」を開催

枕崎市の絵画グループ「枕崎せんじ会」の洋画、日本画、水彩画などの多彩な作品を展示します。ぜひ、ご観覧ください。

会期 5月31日(日)～6月14日(日)
月曜休館
会場 南浜館(市民ギャラリー)
観覧料 無料



この街がどんな色なのか…探すが楽しみです

南日本新聞枕崎支局長 西青木 享さん(41)



JCI (社) 枕崎青年会議所からの お知らせ

第29回青少年研修スクール ～ほくもわだしも焼っ子 とっぶりハマってふるさと大発見(仮称)～

この夏、深く思い出に残ることを枕崎でしませんか?今年の青少年事業として、我がふるさと枕崎を再発見・再認識してもらい、その上で帰郷意識(故郷を思う心)を養う事業を行う予定です。

◎8月開催予定!!

詳細については、学校単位で応募要項を配布します。是非参加してみてください!!

(社) 枕崎青年会議所
〒898-0051 枕崎市中央町1番地
TEL 72-9210 (平日午後1時～5時まで)



皆既日食観測のため船舶で旅客運送を行う皆様へ

平成21年7月22日の皆既日食観測のため船舶により旅客運送を行う場合は、海上運送法が適用されますので鹿児島運輸支局へ所定の手続きが必要となります。早めの手続きをお願いします。

詳しくは、九州運輸局鹿児島運輸支局運輸担当(TEL 099-222-5660)へお問合せください。

みなさんの声届けます

南日本新聞支局の新たな支局長に、西青木亨さんが本社会部から赴任されました。西青木支局長は、入社17年目。これまで本社会部に通算6年、川内支社・現薩摩川内総局)などで勤務されてきました。

趣味はスポーツ。ラクビーを高校から大学までされていたとのこと。

■枕崎の印象は?
海を望む景色が素晴らしく、風が心地いいですね。いつも穏やかですが、ときに荒々しい姿を見せる海を眺めていると、このような自然環境が郷土の人々の生活や気質にどんな影響を与えているのか探してみたいという気になります。

南薩に住みたいと思いましたが私はもちろんですが、妻

◎南日本新聞枕崎支局
TEL 720245

ともに枕崎のことをすっかり気に入っています。
■枕崎でしたいことは?
早速、一つの目標としていた「かつおラーメン」を食べました。あっさりした中にコクがあり、とても美味しかったです。
昨年度まで勤務していた社会部では、夜中まで仕事をすることが多く、体を動かす機会も少なかったのですが、こちらではスポーツを楽しみ、地魚をいっぱい食べて健康的な生活を送りたいです。
■今後の抱負について
みなさんの声を直に聴きたいので、どんどん人の中に入り込んでいきたいです。そして、枕崎のことを県内全域に知ってもらいたいと思っています。よろしくお願ひします。

戦没者を慰霊し平和への決意を新たに 海上特攻第二艦隊戦没者追悼式



戦艦大和をはじめとする第二艦隊の追悼式が4月7日、平和祈念慰霊奉賛会(島野宏之会長の主催により、火之神公園内にある平和祈念展望台で行われました。
式には、全国から参加した遺族など合わせて約400名が参列。それぞれが戦没者への思いを胸に、献花を行い冥福を祈りました。
とどけ平和へのメッセージ
今回の式では、名古屋市の南山中学校男子部3年生徒4名の出席もあり、代表して浦ヶ原光太郎君が「戦争で亡くなった方々の思いを忘れない。平和な生活を大切に。広く世界を見つめ国際性を大切に」と誓いま



▲4月4日、小雨の降る中でしたが、参列者をきれいな会場で気持ちよく迎えようと、約30名のボランティアの方々が集まり、草払などの清掃作業を行いました。

参加した前山俊一さん(恵比須町)は「手伝えてうれしい」と、きれいになった平和祈念展望台を眺めて語ってくれました。



▲透き通るような青空となった当日、ハーモニーネットワークの方々が茶館とカツオの腹皮のから揚げを参列者に振る舞いました。枕崎名物でもてなされた参列者は、おいしそうに残さず食べていました。



▲戦没者の冥福を祈り、平和を誓う
右・浦ヶ原光太郎君 左・久保徹君

三島村通信★

■フェリー「みしま」の枕崎港就航にについては、本年度から3年間の実証運航が認可されました。

★硫黄島

枕崎市の南、約50kmの洋上に点在する三つの島から成る「三島村」。真ん中に見える島が「硫黄島」です。普段みなさんが目にしている硫黄島は、もくもくと噴煙を上げる活火山の勇壮なイメージではないでしょうか。まさに硫黄島は生きている島。そして「噴煙」と聞くと「灰は大丈夫?」と心配してしまいがちですがこの噴煙、実はほとんどが水蒸気なのです。「あんな火山のそばに住んでいて大丈夫?」心配無用です。この火山、名前を「硫黄岳」と言いますが、最後の爆発は昭和9年。それ以降爆発はありません。強い地震も無く、住民も「硫黄島で体を感じない地震が頻発しています」との新聞やニュース報道で、初めて活動の様子を知る、といった感じですが、さて、火山と言えば温泉!中

でも海岸にある「東温泉」はマニアには特に有名な露天風呂。3月号の表紙に採用していた皆さま、そして今がシーズンの大名竹の子。火山の地熱の影響か、「アクが無く食べやすい」と大好評です。硫黄島では5月30日に「三島村新能「俊寛」」を上演します。日帰りツアーは、枕崎港発着です。この機会に是非硫黄島を楽しんでみてはいかがでしょうか?



■枕崎市のみなさん、こんにちは。4月号からスタートした「三島村通信」を担当します。紙面をお借りして、三島村のフレッシュな情報をお届けします。楽しみにしていて下さいね。()/